

ザ・ファブル



新 人 漫 画 家
応 援 企 画 !!

ザ・ファブルの南勝久先生

The silent-killer is living in this town.
THE FABLE

プロ漫画道場、 開講じゃワレェ!!

新人賞締切までラストスパートをかける漫画家志望者に向けて、

『ザ・ファブル』連載中の南勝久先生の激励インタビューを掲載!!

これを読んで作品の完成まで気持ちを高めるもよし、

思い切って修正するもよし、

あなたにとって必ずタメになる、漫画づくりの極意がココに!!

プロの心得
一、キャラクター
づくりの秘訣編
二、"リアリティ"の
追求編
三、仕事への姿勢
編

And more...

南 勝久

KATSUHISA MINAMI'S PROFILE

昭和46年5月30日大阪泉州生まれ。
多くの職を経たのち漫画家に。

第41回ちばてつや賞ヤング部門に「ナ
ニワトモアレ」で準大賞を受賞。

2000年より「ナニワトモアレ」「なにわ
友あれ」を連載。

2014年より「ザ・ファブル」連載中。

次ページより
必読インタビュー
開始!!!!

プロの心得 其の一

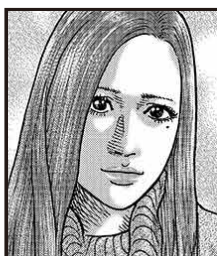
キャラクターは「見た事のない」と「面白い」で生み出すべし

Q. どのような狙いをもって『ザ・ファブル』のキャラを生み出したのか、今回は以下の2人に焦点を絞ってお聞きしたいです。



佐藤 明(偽名) / ファブル

『ナニワタモアレ』&『なにわ友あれ』を14年描いてきて、大きな収穫の一つがゼンちゃん(作中最強の男)のキャラでした。そこで次回作は、ヤンキーのケンカレベルじゃなく、生き死にまで背負って戦えることと強いキャラを描きたくなりました。そうなる職業が限られてきます。軍人、傭兵、ヤクザ、そして殺し屋……。ただ軍人、傭兵には専門的な知識がハンパなく必要で、ヤクザを描くには社会的な問題がありました。そこで「殺し屋」を選んだんです。しかし、殺し屋をテーマにした作品は沢山あります。なので、この「よくあるテーマ」を「見た事のない」やり方で表現したいと考え、「人を殺さない」方向で話を練りました。無敵の天才殺し屋が「今日から1年間休業しろ!」と宣告されたら、どんな風に社会で暮らすのだろうか……。そのアイデアを思いついた時、ファブルが誕生しました。



佐藤 洋子(偽名)

ファブルの構想初期に女性を主人公にしたらどうかと考えた時期がありました。無敵の天才女殺し屋の「1年間休業物語」です。今考えても面白いものが描けそうな気がしますが、ただ、長期連載を考えた時、やっぱり主人公が男のほうが僕には描きやすいと思ったんです。ならこの女キャラは相棒にしようと考え、今に至ります。読者の的には色々意見はあるのですが、僕的にはこんな女なら騙されても憎めない、そう思えるキャラにしているつもりです(笑)。

「見た事のない」アイデアと、自分が信じる「面白さ」を追求することが、キャラづくりに必要なのだ!!

プロの心得 其の二

とにかく経験第一! 可能な限り、すべて実践せよ

Q. 『ザ・ファブル』の世界から滲み出るリアリティは、どのような意図を持って追求されているのでしょうか。

南勝久
回答

「百聞は一見に如かず」。まさにその通りで、なんなら「万聞は経験に如かず」ですよ(笑)。ヘビを食べて鳥肉に似てると調べれば出てきますが、実のところどうだろう?……こう思うのが大事で、もし自分が白身魚に近いと思うならそれが一番正しいんですよ。それがリアリティで経験なんです。ちなみにヘビはやっぱり鳥肉でしたね(笑)。

実際に経験して自分自身が感じたことがリアリティ。どんな経験も、作品づくりの無駄にはならない!!

プロの心得 其の三

絶えず作品に向き合う姿勢を維持せよ

Q. 1話1話を描く上で、どのようなスケジュールで進行をされているのか、また、モチベーションをどう維持しているのかをお聞かせください。

南勝久
回答

まず、風呂は1日に2回入ります(笑)。寝起きと仕事終わりに湯につかりながら、その日のやる事や、明日やる事を考えながらボ〜としてます。仕事のスタートは毎週木曜日で、担当とネームの打合せをします。金曜日から原稿へ向かい、月曜から水曜にスタッフも集合して追い込んで、締切です。残りの時間は、ほとんど飲むか寝るかで(笑)、ストレスを溜めないように気をつけています。

自分なりのスケジュールを組み、それを守る。重要なのは、自分に合ったルーチンを定めること!!

次ページにて、南先生が新人時代のエピソードを激白!!

プロの漫画家を目指す新人に向けて、

南先生のちば賞受賞～連載デビューまでのエピソードを語ってもらいました!!

プロを目指すなら、必読ッ!!

質問

漫画家を目指すきっかけになったエピソードなどがあれば教えてください。

勝久
南回答

とにかく勉強がキライでした。よいより、親や誰かにこれをやれ、とか指図されるのがイヤだったんですね、今思えば……。勉強なんかなくていいのよ、なんて言われていたら逆に大学までガリ勉してたかもしれません(笑)。漫画家を目指した理由は、人生をちゃんと考えるようになった時、得意な事を活かそうと思ったら漫画しかなかったのと、運任せの人生はイヤだったので、なるべく実力主義の階段を選びたからです。格差社会なんて言われていますが、僕もドックフードを食べたりちょっとした貧乏は経験しました。だから頑張れるんですよ。平等なんて夢を見てるならまず目を覚ましたほうがいいですね。

質問

ちばてつや賞受賞作『ナニトモアレ』を描いた時に、苦勞されたエピソードがあれば教えてください。

勝久
南回答

「漫画家になりたい!」と思っても何を描いていいかわからなかったの、自分が知ってる事、経験した事をあの頃は描きました。すべて独学だったので、テクニックも何もない所からあの漫画を生み出したのは友達のおかげです。実在する友人を何人も使う事で勝手にキャラが立ったからです(笑)。

質問

『ナニトモアレ』の連載が決まった経緯をお教えいただけますでしょうか。

勝久
南回答

ちばてつや賞の授賞式の夜、当時の編集長の関さんに挨拶させて頂いた際に「連載できるように頑張ります!」と僕が言うと、関さんが「ぜひ、してください!」と仰って……。そんないきなりな、ありがたい瞬間に連載が決まりました(笑)。数日は信じていなかったですけど(笑)。連載当初は、こりゃ長く続いても2巻ぐらいかな……と思っていましたが、毎週毎週、無我夢中で描いているうちに、14年間の連載となりました。

質問

先生がお考えになる、漫画家を目指す上で「コレ」が必要、というものがありませんか教えてください。

勝久
南回答

僕が気をつかうのは、とにかくキャラと設定ですね。ストーリーなんかキャラが良ければ勝手に面白くなるんです。例えば、最高の遊園地でもつまらない奴と行くと面白くないじゃないですか。でも、ただのドライブでも面白い奴と行くとめっちゃ盛り上がります。それがキャラなんだと思います。そして願わくば、紙面上のキャラに針を刺すと、血が出るような……そんなキャラを描きたいと願っています。

南先生、ご協力
ありがとうございました!!!

ちばてつや賞の募集要項は
次ページをチェック!!

質問

勝久
南回答

これからちばてつや賞に応募される新人の方に向けて、何かメッセージをいただけますでしょうか。

漫画を描く、という事は一人でプロデュースから監督、演出、脚本、照明、などなどをするわけで、これを大変とるか贅沢と思って楽しめるかが重要です。1日365日、これだけは世の中平等です。何か描ける、何か描きたい、と思うならやってみては!? 人生一度、これも平等です。

第41回ちばてつや賞ヤング部門
準大賞受賞『ナニトモアレ』

